

## 令和元年度 事後評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	大阪岸和田南海線街路事業（王子工区）		
担当部署	都市整備部交通道路室道路整備課建設グループ（連絡先 06-6944-9276）		
事業箇所	和泉市太町、葛の葉町、王子町三丁目、王子町、鶴山台三丁目地内		
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、和泉市域を南北に貫く幹線道路であり、大阪と和歌山を結ぶ主要幹線である主要地方道大阪和泉泉南線等の慢性的な交通混雑を緩和することを目的として、道路新設するものである。</p> <p>【事業内容】 街路築造（第4種第1級） 延長：0.6km（都市計画道路北信太駅前線～地区内4号計画道路） 幅員：22m 車道：4車線（6.5m×2） 自転車歩行者道：両側（3.5m×2）</p>		
関連事業とその現状	（都）大阪岸和田南海線（上町工区）：H28年度事前評価		
社会経済情勢の変化	【本路線・周辺道路の状況】 本事業としては、平成27年5月に供用した。		
	[供用後交通量]		
		平成30年度	
	12時間交通量	2,724台	
	24時間交通量	3,541台	
	[周辺道路交通量]		
大阪和泉泉南線			
	平成22年度（供用前）	平成27年度	
12時間交通量	6,686台	6,209台	
24時間交通量	8,886台	8,077台	
一般国道26号			
	平成22年度（供用前）	平成27年度	
12時間交通量	49,726台	51,420台	
24時間交通量	71,092台	72,785台	
事業実施による自然環境の変化	周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に影響を与えることは無い。		
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—		

### 2 事業効果の分析等

	最終評価時点 H22	事後評価時点 R1	変動要因の分析
事業費	57億円 [国 31.4億円、府 25.6億円]	58.3億円 [国 31.0億円、府 27.3億円]	事業費精査による増大
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 16年 ② 平成8年度 ③ 平成9年度 ④ 平成24年度	① 19年 ② 平成8年度 ③ 平成9年度 ④ 平成27年度	用地交渉に時間を要したため、供用時期が遅れた。
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走行時間短縮便益</li> <li>・走行経費減少便益</li> <li>・交通事故減少便益</li> </ul> <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B/C= 1.2</li> <li>・B = 78.8億円</li> <li>・C = 65.8億円</li> </ul> <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省「費用便益分析マニュアル」(平成20年11月)により算出。</li> <li>・H17交通センサスペースのH42将来交通量推計値により算出</li> </ul>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走行時間短縮便益</li> <li>・走行経費減少便益</li> <li>・交通事故減少便益</li> </ul> <p>【分析結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B/C= 1.1</li> <li>・B = 107.6億円</li> <li>・C = 98.3億円</li> </ul> <p>【算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省「費用便益分析マニュアル」(平成20年11月)により算出。</li> <li>・H17交通センサスペースのH42将来交通量推計値により算出</li> </ul>	供用年度が延伸されたことによるもの
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車分離による歩行者・自転車の安全性の確保。</li> <li>・物流の効率化の支援。</li> <li>・地域間交流連携の強化。</li> <li>・十分な幅員が確保された歩道による快適性の向上。</li> </ul>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車分離による歩行者・自転車の安全性の確保。</li> <li>・物流の効率化の支援。</li> <li>・地域間交流連携の強化。</li> <li>・十分な幅員が確保された歩道による快適性の向上。</li> </ul>	
その他特記事項	—		

### 3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

評価結果 (事業効果の発現状況等)	大阪和泉泉南線の交通の一部が転換されるとともに、歩道改良により、自動車交通の円滑化と歩行者等の安全確保が図れた。 現道の大阪和泉泉南線のバイパスとして、広域的なネットワークを形成することにより、南大阪地域の交通利便性が向上するほか、広域緊急交通路として機能を発揮することが見込まれることから、引き続き残る区間を整備することで整備効果が発現されるよう取り組む。
今後の同種事業に対する改善措置等	—

令和元年度 事後評価 都市計画道路 大阪岸和田南海線(王子工区)

